笑顔！笑顔！笑顔！

みどりの学校『やる木』『げん木』『こん木』　１５０　＋１（プラスワン）

令和８年１１月４日　長崎市立古賀小学校学校だより　R８１４号　校長　桑原　重久

キュビナ活用強化月間の成果と家庭での活用について

１１月を迎え、２学期も折り返し地点となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

１０月は「キュビナ活用強化月間」を実施しました。今年度はさらなるレベルアップを目指し、昨年度の目標（１人４００問）を超える「１人５００問解答」に挑戦しました。結果、**全校平均解答数は１２６８問**を達成しました。３年前の７９１問、昨年度の１１９２問から着実に成果が上がっています。

目標の５００問達成者は**３２９人（８６％）**、昨年度の目標値４００問達成者は３５０人（９割以上）となり、子どもたちのがんばりが光りました。目標に向けて諦めずに努力を重ねた子どもたちのがんばりを、大変頼もしく思っております。

AI学習ドリル（キュビナ）の効果的な活用方法

キュビナは、一人ひとりのつまずきに合わせて最適な問題を出題してくれるAI学習ツールです。ご家庭で取り組む際は、次のポイントを意識すると学習効果がより高まります。

① 毎日「１５～２０分」の短時間集中

まとめて一気に行うよりも、時間を決めて毎日少しずつ取り組むことで、知識の定着と学習習慣の定着につながります。

② 間違えた問題をそのままにしない

AIが自動で「解説」や「さかのぼり問題」を出題してくれます。すぐに答えを見ずに、ヒントを読んで自力で解き直すことが学力向上のカギです。

ご家庭での温かいかかわり方

保護者の皆様には、結果（正答率）だけでなく、「取り組んだプロセス」を認める声かけをお願いできれば幸いです。

① **具体的に褒める**：「○問も進んだね！」「毎日続けていてすごいね！」と、努力した数値や継続を評価してあげてください。

② **自分で考える姿勢を見守る**：答えを教えるのではなく、「ヒント（自動解説）を一緒に読んでみようか」と声かけをし、自分で解決できた体験を重ねさせることが大切です。

２学期後半におきましても、子どもたちが自ら学び、確かな学力を身につけていけるよう、教職員一同サポートしてまいります。今後とも保護者の皆様とともに、子どもたちの学力向上に取り組んでまいりたいと思います。